BUFFALO

12V車専用　FMトランスミッター

BSFM05シリーズ
取扱説明書

⚠ 警告

●道路交通法に従って安全に運転してください。
- 運転中は絶対に本製品や接続機器を接続・設置・操作しないでください。
- 運転中に本製品や接続機器の画面を注視しないでください。
- 車外の音が聞こえる程度の音量でご利用ください。

●エアバック作動や運転操作の妨げとならない様に設置してください。
- ケーブル類は整理し、車体稼動部などへのはさみ込みがないようにしてください。
- 設置後には必ず各種操作がスムーズに行えることを確認してください。

※設置が困難な場合、市販の分配・延長ソケットをご利用ください。

●異常が起きた場合はただちに使用を中止してください。
- 本製品から異臭・煙・異音がした場合は、ただちに使用を中止し、ソケットから抜いてください。
- ケーブルなどに傷が発見された場合は、使用を中止し、ソケットから抜いてください。

●定期的に点検をしてください。
- 定期的にケーブルや本製品に傷がないか、点検してください。
- 定期的に本製品とシガーソケットの間にほこりがたまっていないか、点検してください。

●分解や改造、本製品内部の修理をしないでください。
- 本製品内部については、自分で修理・改造・分解を行わないでください。
- 本製品内部に水や異物が混入した場合、ただちに使用を中止し、ソケットから抜いてください。

※本製品内部の修理は弊社テクニカルサポートセンター、または販売店にご相談ください。

●本製品の対応機種・用途以外には利用しないでください。

●金属部分が熱くなる場合があります。ご注意ください。

●本製品には鋭利な部分があります。ご注意ください。

⚠ 注意

●エンジン始動中に本機を抜き差ししないください。
エンジン始動中はシガーソケットに電圧がかかっている状態ですので、本製品を抜き差しする際の接触状態によっては規定以上の電圧が流れ、故障の原因になる可能性があります。

●使用中の本製品に長時間触れないでください。
通電中の本製品に長時間皮膚が接触した状態は、低温やけどの原因となる可能性があります。

●シガーソケットの形状が合っているかどうか確認してください。
本製品は、内径 21.5 ～ 22mm のシガーソケットに対応しております。一部の車種ではシガーソケットの形状が異なる場合がありますのでご注意ください。
差し込みが固すぎると感じた場合は、無理に差し込まず、市販のシガーソケット分配 / 延長ケーブルをご利用ください。

●本製品をカバーなどで覆った状態で使用しないでください。
座布団やカバーなど、熱がこもる状態での使用は変形や火災の原因となる可能性があります。

■使用上のご注意

- 本製品は、微弱電波を使用しています。設置環境によってはノイズが発生する場合があります。
- 本製品は 12V 給電の車種専用に設計されています。24V 給電車種では使用できません。
- 本製品はマイナスアース仕様の車種専用に設計されています。プラスアース仕様の車種では使用できません。
- 本製品は「エンジン連動 ON/OFF 機能」を有していますが、一部の車種（エンジン停止後にシガーソケット給電が停止しない車種）では、この機能が働きません。このような車種では、エンジン停止後に本製品および接続機器の電源が OFF にならず、車のバッテリー上がりの原因となります。このような車種では、エンジン停止後に必ず本製品をソケットから抜いておいてください。
- 異常に高温になる場所（直射日光の当たるダッシュボード、熱器具の近く等）や振動の激しい場所、湿度の高い場所、異常に低温になる場所、ほこりの多い場所では設置・保管しないでください。
- シガーソケットに変形・汚れなどがある場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品は精密機器ですので、強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 長期間使用しない時は本製品から iPod を取り外し、シガーソケットから抜いて保管してください。
- ショートする可能性がありますので、本製品コネクター部分に金属類が触れないようにしてください。
- 本製品の外観部分を清掃する時は、水か少量の中性洗剤を含ませた布等で拭いてください。ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

製品仕様

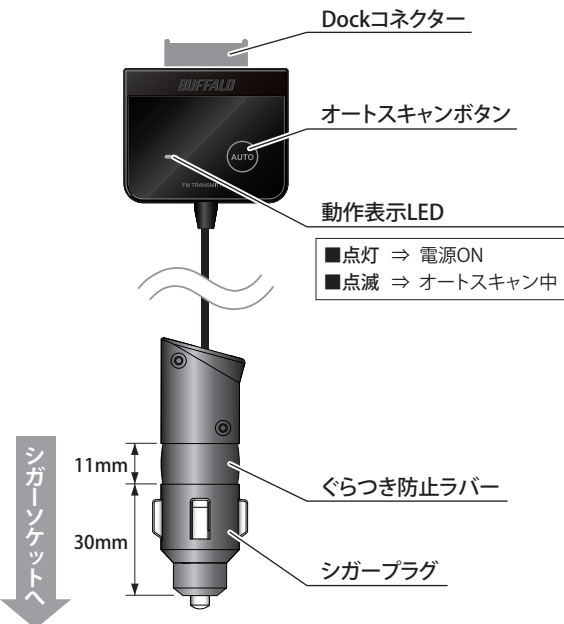
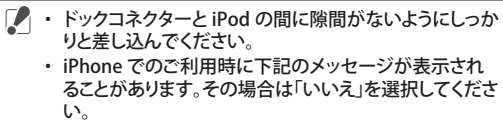
項目	内容
製品構成	本体、取扱説明書
変調方式	FMステレオ変調　パイロットトーン方式
コネクター形状	Dockコネクター
送信周波数	76.0MHz～90.0MHz（0.1MHzステップ）
入力電圧	DC+12V（シガーソケットより供給）
出力電圧/電流（最大）	5V/1A（Dockコネクターより）
消費電力	1W以下（充電電流を除く）
動作環境	動作温度　5～40℃ 動作湿度　20～80%（結露なきこと）
ケーブル長	約85cm
外形寸法	本体部分：W43×D9×H35(mm) シガーソケット部分：W20×D22×H68(mm) （突起物、ケーブル含まず）
重量	約46g（本体のみ）

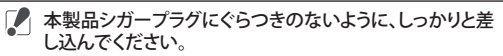
機能説明

機能	説明
FMT対応	FMトランスミッターを経由して、iPodの音楽を自動車のFMに送ることができます。
オートスキャン	Autoボタンを押すことで、最適な周波数に自動設定します。
周波数表示	Autoボタンを押したときなど、FMトランスミッターに設定されている周波数を表示する機能です。
iPod充電	ドックコネクターにiPodをつないだときに、iPodを充電する機能です。
エンジン連動	自動車のエンジンを切ったときや入れたときに、iPodが連動して電源をON/OFFする機能です。

各部の名称

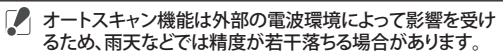
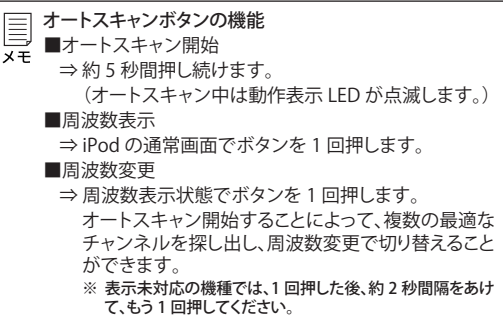
接続手順

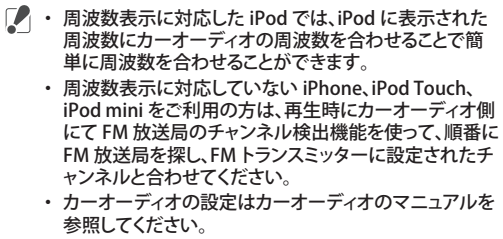
(1) 本製品（ドックコネクター）にご利用のiPodを接続してください。

> - **ドックコネクターと iPod の間に隙間がないようにしっかりと差し込んでください。**
> - **iPhone でのご利用時に下記のメッセージが表示されることがあります。その場合は「いいえ」を選択してください。**

(2) 本製品を車のシガーソケットに差し込んでください。

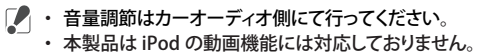
> **本製品シガープラグにぐらつきのないように、しっかりと差し込んでください。**

(3) 車のエンジンを始動します。
本製品の電源とiPodの電源がONになり、前回送信周波数にて送信を開始します。

(4) オートスキャンボタンを長押しします。
周辺のＦＭ放送局の環境から、最適なチャンネルを自動的に検出し、FMトランスミッターの周波数に設定します。

> メモ
> **オートスキャンボタンの機能**
> ■オートスキャン開始
> ⇒ 約 5 秒間押し続けます。
> （オートスキャン中は動作表示 LED が点滅します。）
> ■周波数表示
> ⇒ iPod の通常画面でボタンを 1 回押します。
> ■周波数変更
> ⇒ 周波数表示状態でボタンを 1 回押します。
> オートスキャン開始することによって、複数の最適なチャンネルを探し出し、周波数変更で切り替えることができます。
> ※ **表示未対応の機種では、1 回押した後、約 2 秒間隔をあけて、もう 1 回押してください。**

> **オートスキャン機能は外部の電波環境によって影響を受けるため、雨天などでは精度が若干落ちる場合があります。**

(5) カーオーディオをＦＭ受信に切替え、手順4で検出した周波数に合わせます。

> - **周波数表示に対応した iPod では、iPod に表示された周波数にカーオーディオの周波数を合わせることで簡単に周波数を合わせることができます。**
> - **周波数表示に対応していない iPhone、iPod Touch、iPod mini をご利用の方は、再生時にカーオーディオ側にて FM 放送局のチャンネル検出機能を使って、順番に FM 放送局を探し、FM トランスミッターに設定されたチャンネルと合わせてください。**
> - **カーオーディオの設定はカーオーディオのマニュアルを参照してください。**

(6) iPodの音楽を再生すると、カーオーディオから再生されます。

> - **音量調節はカーオーディオ側にて行ってください。**
> - **本製品は iPod の動画機能には対応しておりません。**

(7) 放送局との混信など受信状態が思わしくない場合は、送信周波数を変更してください。（オートスキャンボタンの機能参照）

iPod対応機種

機種	iPod 第4世代	iPod (Photo) 第4世代	iPod 第5世代	iPod classic	iPod nano 第1世代	iPod nano 第2世代	iPod nano 第3世代	iPod nano 第4世代	iPod nano 第5世代	iPhone 3G	iPhone 3GS	iPod touch 第1～2世代※4	iPod mini 第1～2世代
製品写真													
FMT 対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※1	○※1	○	○
オートスキャン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
周波数表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
iPod 充電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エンジン連動	×※3	×※3	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2

※1：「このアクセサリはiPhoneでは動作しません」と表示されますが、表示されたメニューで「いいえ」を選択することで使用することができます。
※2：エンジンのスタートおよびストップとシガーソケットの給電のON/OFFが連動していない車種には対応しておりません。
※3：FMトタンスミッターをご使用にならないときは、iPodを手動で終了させてください。
※4：第2世代（2008年、2009年9月発表モデル）

困ったときは・・・

●カーオーディオから音楽が再生されない
→ 本製品とiPodの接続、本製品とシガーソケットの接続をご確認ください。
→ 本製品とiPodの接続、本製品とシガーソケットの接続をご確認ください。
→ FMトランスミッターをシガーソケットから抜き、iPodをFMトランスミッターから取り外した後に、接続の手順に従って、もう一度はじめから設定し直してください。

●音量が小さい・音質を調整したい
→ 音量は、カーオーディオ側にて調整してください。
→ 音質は、カーオーディオまたはiPod本体のイコライザ(EQ)設定にて調整してください。
※ **iPod本体の音量調整は、ドックコネクタ接続には対応していません。**

●iPhoneに変なメッセージが出る
→ iPhoneでの使用時に「このアクセサリはiPhoneでは動作しません」と表示されますが、表示されたメニューにて「いいえ」を選択戴くことでご利用いただけます。

●設定された周波数が判らない
→ iPhone、iPod Touch、iPod miniでは設定された周波数の表示機能に対応しておりません。
カーオーディオ側にてチャンネル検出機能を使って、順番にFM放送局を探し、FMトランスミッターに設定されたチャンネルと合わせてください。

●再生中に音が止まる
→ ドックコネクターの接続が緩んでいないかを確認してください。

●動作しない
→ FMトランスミッターをシガーソケットから抜き、iPodをFMトランスミッターから取り外した後に、FMトランスミッターをしっかりシガーソケットに接続し、LEDが点灯するかを確認ください。LEDが点灯しない場合は、故障の可能性があります。
→ シガーソケットの内径が21.5cm～22cmの範囲にない場合は、市販の変換プラグを使用してください。

● 充電ケーブルを接続しても、赤マークの付いた電池表示が表示され、使用できない
→ iPhone、iPodTouchは、電池残量が少なすぎると、充電ケーブルを接続しても、赤マークの付いた電池表示が表示され、使用できなくなります。
このような状態になってしまた場合、通常はDockコネクタより充電しますが、本製品は、iPhone、iPodTouchを再生しながら充電する仕様となっていますので、動作することができないために充電もできません。
対処方法としては、まずACアダプターやPCから充電ケーブルを使用し、iPhone、iPodTouchを電池表示が緑マークになるまで充電してから、本製品に接続してください。

お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にてご確認いただきますようお願いいたします。

マニュアル（印刷物、添付 CD 等）をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 FAQ 情報、最新ドライバダウンロード**をご確認ください。

ホームページ
http://buffalo-kokuyo.jp/support/

上記で改善しない場合は、**テクニカルサポートセンター**へお問い合わせください。

Web でのお問い合わせ先
http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/

FAX でのお問い合わせ先
050 - 5805 - 9384

電話でのお問い合わせ先
※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
050 - 3163 - 3177　月～土（日・祭日、年末年始除く）9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00
※050 から始まる IP 電話を利用しています。

修理品の発送先(A)

＜送付先＞
〒470-1121　愛知県豊明市西川町島原1-1
バッファローコクヨサプライ　修理センター宛

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）

1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が 、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社テクニカルサポートセンターにご送付ください。テクニカルサポートセンターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）

1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

株式会社 バッファローコクヨサプライ
BSFM05シリーズ 取扱説明書
第3版発行 2010/4/21
KM00-0094-03